

感動野球



9月号 (Vol.10)

(2021年9月発行)

作成:硬式野球部 MG

こんにちは。関西大倉硬式野球部 MG です。今月は令和3年度秋季近畿地区高等学校野球大会大阪府予選(秋季大会)が行われました。本校の秋季大会の結果報告と10月から開催される「Liga Agresiva」のことについて記事にいたします。

—令和3年度秋季近畿地区高等学校野球大会大阪府予選—

2回戦 関西大倉 7-3 清教学園

3回戦 関西大倉 6-23 東海大仰星

緊急事態宣言下での開催のため無観客での公式戦となりましたが、初戦の清教学園高校には7-3で勝利することができました。3回戦の東海大仰星高校には3回までに6点をとることができましたが、相手の攻撃を止めることができず敗戦となりました。3回戦まで進出したため秋季大会は「ベスト64」という結果になりました。無観客での開催となりましたが、沢山応援していただきありがとうございました。



2021年度 Liga Agresiva について

「将来を見据えたチャレンジを!~末永く野球を続けるために~」

1. 目的

- ・選手育成を第一とした試合を行うこと
- ・低反発金属バット(または木製バット)を使用すること
- ・投手の変化球での故障リスクを下げるために直球中心の投球を行うこと(上記の2点により投打ともに地力をつけることをめざすこと)
- ・勝利をめざしてベストを尽くしたプレーをめざす中でスポーツマンシップを正しく理解して正々堂々と勝負し、グッドゲームをめざす姿勢を育むこと
- ・先進的な取り組みを行い、バットの制限や投球制限、トーナメント制など高校野球界が抱える問題の改善をめざすこと

2. 参加校

- ・旭高校、門真なみはや高校、みどり清朋高校、香里丘高校、花園高校、高津高校、大阪学芸高校、関西大倉高校、早稲田摂陵高校、立命館宇治高校、市立尼崎高校、布施高校、阪南高校

【指導者からのひとこと】

3年前関西大倉高校にきて、現在4年目を迎えています。2年前の夏季大会4回戦で東海大仰星と対戦した時は0-16で敗戦しました。今年の秋季大会3回戦で東海大仰星と対戦して6点とれたことは自信にして良いことです。「彼を知り己を知れば百戦殆からず(孫子)」、今の本校硬式野球部に当てはめると、まず今の自分たちの力を分析して「何が足りないのか」を知り改善する。そして対戦した相手を分析して自分たちの勝利に近づけていくためには「何が必要なのか」を考えて次の戦いに備える。そうすれば関西大倉もどんな戦いでも勝てるということを説いています。(松井先生より)

秋季大会が終わり、今年も Liga Agresiva が始まります。チームにとっても、個人的にも文字通りの「実りの秋」となる様に、しっかり準備をしましょう。

(弘兼憲史)自分に勝つと言うたった一つの目標は、まず自分の弱さを認めることから始まるはずだ。この作業が終わらない限り、今の自分を乗り越えることは出来ない。(細谷コーチより)

秋季大会が残念な結果で終わってしまいました。各々反省点は沢山あると思います。その課題を克服するために、その課題を頭に入れ、これからの練習に活かしてください。でないと、春に痛い目をみま。メンバー外だった選手の下剋上がチームの底上げになります。絶対メンバーに入るという気持ちを忘れないでください。(戸川コーチより)